

◎東高校の修学旅行

2017年・2018年は「沖縄本島・与論島」、2019年は「沖縄本島・伊江島」、2020年は当初の計画は「沖縄方面」でした。

2020年11月24日～11月27日実施

『南九州（鹿児島・熊本）方面修学旅行』

学ぶことが多い修学旅行でした。

この修学旅行が実現できたのは、保護者の皆様の御理解、関係する方々の御協力、そして、何より生徒との信頼関係があったからだと思います。

1日目 〔平和学習〕

（鹿児島市内泊）

東京の青い空。飛行機雲できれいな白線を引きながら、一路、鹿児島へと向かいました。

昼食は、奄美地域を代表する郷土料理である「鶏飯」や「さつま揚げ」など鹿児島の食を楽しみました。また、この日は「平和について学び、自己の考えを深めていく」ことを目的とし、「知覧特攻平和会館」を訪れました。



生徒の感想

「知覧特攻平和会館を訪れ、平和について学んだ。講和を聞き、戦争はとても悲惨で悲しいものだとわかった。」

「遺書や実際の写真を見て、感じるものがたくさんあった。自分たちと同じように生活をして、生きている。亡くなった一人一人に愛する人がいる。それが一瞬にして消えてしまうのは本当に悲しいことだと思った。でも、そういう歴史があるから今があると思うと、大切にしなければいけないなと思った。」

2日目 〔鹿児島市内班別自主研修〕

(阿蘇市内泊)



生徒の感想

「鹿児島での自由行動では、横浜や東京とは違う方式のバスや市電の乗り方が、とても新鮮でした。」

「鹿児島や熊本の自然や人々の温かさが知れてよかったです。地元の方がお店やバス停などで声をかけてくださり、話をした際は横浜と九州の違いを感じ、修学旅行に行ってよかったという気持ちになりました。」



生徒の感想

「桜島で見た火山灰で埋まった鳥居が、天災の圧倒的な力強さを物語っていて、災害の恐さを再確認することができました。」

3日目 〔熊本地震震災学習・体験学習〕 (阿蘇市内泊)

3 グループに分かれ、「旧東海大学阿蘇キャンパス」、「大観峰」、「北里柴三郎記念館」、「阿蘇草原トレイルウォーク」を訪れました。中でも、震度6強の揺れを受けながら倒壊しなかった建物と断層が一体的に保存されている「旧東海大学阿蘇キャンパス（地表地震断層、1号館建物）」の様子と被災者でもあるガイドさんのお話は、心に響くもので、強く脳裏に刻み込まれたと思います。また、感染防止対策を講じルールを順守しながら、ささやかながらあたたかい「学年レクリエーション」も行いました。





生徒の感想

「『つらい震災を経験して、最初は何も考えられなかった。絶望した。でも、私たちができるのは、この経験を自分の言葉で伝えることだから。今回学んだことを胸に刻んで、残りの旅行、楽しんでね。』ガイドの方がそう話してくれた時、つらい状況の中でも人を思いやることができる熊本の方達のやさしさに気づけた。」

「熊本阿蘇復興ツアーで地震による影響を直接見ることができました。教室のカレンダーが2016年で止まっていたことが心に残りました。」



生徒の感想

「北里柴三郎が子どもの頃に武士を目指していたこと、なぜ医学に興味をもっていたのか、ドイツでの功績、日本の医学の発展にどのように影響したのかなど、日本の細菌学の父について深く学びました。」



生徒の感想

「阿蘇へ行ってトレイルウォークをして、自然の素晴らしさを改めて学ぶことができました。また、その自然を維持するために、毎年、野焼きを行ったりボランティアを集めて草を計画的に刈ったりすることによって、きれいな自然を保っていることを学びました。」

4日目 〔自然体験学習〕

いよいよ最終日。楽しく充実した時間は早いものです。この日もバス 11 台に分乗し、本日の目的地の「阿蘇山火口」、「草千里」に行きました。



生徒の感想

「私は今回の修学旅行で、改めて自然の大切さを感じました。草千里やカルデラなどのスケールの大きな様々な景色を見たことで、地球というのは私たちが想像しているよりもずっとすごいものなのだろうなと考えることができました。」

「火山は二カ所見に行きましたが、その雄大な自然をのぞんだことで、今まで以上に自然に対して、畏敬の念のようなものが湧きました。これからももっと、この美しい自然を守っていけるように行動したいと思います。」

「平和学習や熊本阿蘇復興ツアーで家族の大切さを学びました。また、都会では見られない自然を感じられて、とても気持ち良かったです。普段、話さない子と話したり、レクのステージ発表でいつもと違う一面を見ることができて、友達との仲が深まりました。一生の思い出になりました。」

「東高校の生徒として、いつもと違う状況におかれても、『あたりまえのことをあたりまえ



にする』ことで、主体的、積極的な行動ができた。また仲間を信頼することの大切さをあらためて学んだ。また、本当に日本なのかわからないような雄大な自然と出会った。」